

## 学校教育目標

### 自立する生徒

～イメージ豊かに創造しよう～

- ・意欲を持って学習する人
- ・正義を重んじる人
- ・共に生きる人

# 城山中だより

No. 12

令和7年6月 9日

綾瀬市立城山中学校

校長 熊本 丈力

## 6月朝会 校長 挨拶より

# 夢を追い続けることの大切さ

～「アンパンマン」の作者 やなせさんの生き方～

みなさんはアンパンマンというアニメを知っていますか。やなせたかしさんという方が描いたアニメです。このやなせさんと奥さんを主人公にしたドラマ「あんぱん」が、今NHKで毎朝放映されていて話題になっていますね。アンパンマンには「アンパンマンのマーチ」というのがありますが、この歌の歌詞もやなせさんが作詞しています。「そうだ嬉しいんだ、生きる喜び、たとえ胸の傷が痛んでも」「何のために生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのは嫌だ」という歌詞には、やなせさんの人生経験やエピソードが映し出されています。

アンパンマンの作者、やなせたかしさんは漫画家として、世の中に認められるために40年近くかかりました。やなせさんは新聞記者、会社員等を経て30代で漫画家としてデビューしましたが、ヒット作に恵まれず、多くの仕事を経験し、「アンパンマン」を描き始めたのは50歳を過ぎてから、アニメ化され爆発的な人気となったのは、70歳近くでした。

そのやなせさんが漫画を描くことをやめようと思ったことがあります。それは14年前に起きた東日本大震災の時。この震災では多くの人々が亡くなりました。そんな人々を見ても何もできない自分。こんな時にのんきに漫画を描いていて良いのか、悩み苦しみました。何もできない自分に腹も立ったそうです。そんな日々を送っていた時に、震災から数日後、ラジオで流れた「アンパンマンのマーチ」に子どもたちがラジオにあわせて大合唱を始め、大人たちも涙を流して感動したそうです。そのニュースを聞いたやなせさんは、「そうか、ぼくにできることは、心に傷を負った子どもたちを元気づけ、励ますことなんだ」と思ったそうです。好きな漫画を描けることは喜びであり、改めて「自分は何のために生きるのか」、それは「人を喜ばせること」と理解しアンパンマンを描き続けることこそ自分の夢だと実感しました。人間も強くはない。むしろ失敗の連続で、悲しいことや苦しいこともある。誰でも胸の傷がある。でも、それを乗り越えたときには、必ず喜び、生きる喜びがあると、それがアンパンマンのキャラクターや歌詞にあらわされていると思います。

やなせさんの言葉です。「夢は追い求めているほうが幸福なのだ」人は誰も幸せな人生を送りたいと願い、こうありたい、明日はそうなれるかもしれないと夢を追いかけていく。もしかしたら、実現には何年もかかるかもしれないし、実現しないかもしれない、夢で終わってしまうかもしれない。それでも夢を追いかけていく。それがいつの間にか生きがいになる。継続することの大切さ、夢を持つこと、夢を追いかけ努力していくことの大切さをやなせさんは教えてくれていると思います。

みなさんはどんな夢があるでしょう。それは簡単には実現できないかもしれませんが、でも、続けていけばいつかはということがあるかもしれません。やなせさんが夢を実現したのは60歳を過ぎてから。それに比べればみなさんには大きな可能性があります。自分では気づいていない才能や力もあるはずです。ぜひ、素直な心を大切にして、毎日の学校生活、勉強や部活動に一生懸命に取り組んで自分の夢を実現していきましょう。